

米国Nozomi Networks社の完全子会社化について
- OTセキュリティを含むSerendie[®]関連事業の拡大 -

目次

1. エグゼクティブ・サマリ		P3
2. 買収概要		P5
3. 買収目的		P9
4. ロードマップ		P13

1

エグゼクティブ・サマリ

エグゼクティブ・サマリ

- グローバルトップクラスのOT*1セキュリティ技術を有するNozomi Networks社を買収
- 三菱電機が持つOT領域における強みとNozomi Networks社が持つ最先端セキュリティ技術の融合によりグローバルNo.1のOTセキュリティソリューションプロバイダーを目指す
- 三菱電機とNozomi Networks社の多種多様な顧客基盤からセキュアに得られるデータを活用し、Serendie関連事業をグローバルで飛躍させる

*1 OT : Operational Technology (制御・運用技術)

2 買収概要

Nozomi Networks社概要

グローバルトップクラスかつ、最先端のOTセキュリティ技術を有するNozomi Networks社(以下、Nozomi)を買収

会社概要

会社	Nozomi Networks Inc. (2016年設立)
CEO	Edgard Capdevielle
所在地	アメリカ・サンフランシスコ(本社) スイス・メンドリシオ(開発拠点)
従業員	315名
売上 ^{*1}	US\$75M (2022-2024 CAGR ^{*2} : 33%)
粗利率	70%+
事業内容	OTセキュリティソリューションの開発・販売



買収の概要

買収金額	US\$883M
内容	100%買収(過去一部出資済)

*1:2024年実績 *2:Compound Annual Growth Rate (年間平均成長率)



米・Fast Company社が選ぶ
Most Innovative Companies 2025
Security部門において3位を獲得

Nozomi Networks社概要

持続的にイノベーションを生み出す技術力と幅広いOTセキュリティのソリューションポートフォリオが強み

Nozomiの強み

- ワイヤレス通信のデータ収集技術
- 高度な侵入検知技術
- 多様なOT/IoTデバイスを網羅する可視化技術
- サブスクリプションを背景とした高い収益基盤
- 製造業、インフラ、ビル領域におけるグローバルで多様な顧客基盤

Nozomiの提供するソリューションポートフォリオ

データ収集

OT/IoTセンサー

業界初
2024年



ワイヤレス通信データ収集・分析センサー
GUARDIAN AIR



Ethernet通信データ収集・分析センサー
GUARDIAN



エッジコンポーネント向けソフトウェアセンサー
ARC

業界初
2024年



PLC向けソフトウェアセンサー
ARC EMBEDDED

見える化

侵入検知・可視化
プラットフォーム

業界初
2020年



クラウドベースプラットフォーム
VANTAGE



オンプレミスプラットフォーム
CENTRAL MANAGEMENT CONSOLE

分析

サービス

業界初
2023年



AIによるセキュリティ分析
VANTAGE IQ

OTセキュリティの重要性

デジタル化の加速により、OT領域へのサイバー攻撃の増加と規制の強化が進み、OTセキュリティ市場が急拡大
NozomiのOTセキュリティはネットワーク上の異常をいち早く検知し、顧客をサイバー攻撃から守る上で重要な役割を担う

市場環境

サイバー攻撃の増加

レガシーシステムが多く、脆弱性を持った機器が多数稼動するOT領域へのサイバー攻撃が増加

規制の強化

国際標準規格・法規制の整備によりOT領域における対策義務化
(IEC62443・NIST SP800-82など)

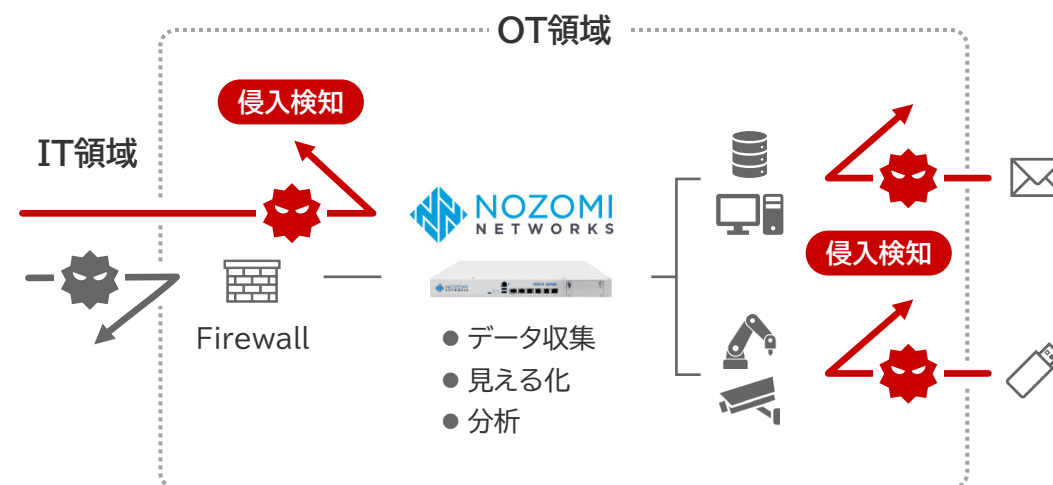
市場の拡大

2025年 2.9 兆円
▶
2035年 15.1 兆円

出典 : Market Research Future
“Global Operational Technology Security Market Research Report”

Nozomiの技術

OTネットワークにより繋がる機器の通信を監視し
データ収集、見える化、分析により異常を検知



3 買収目的

OTセキュリティ事業の強化

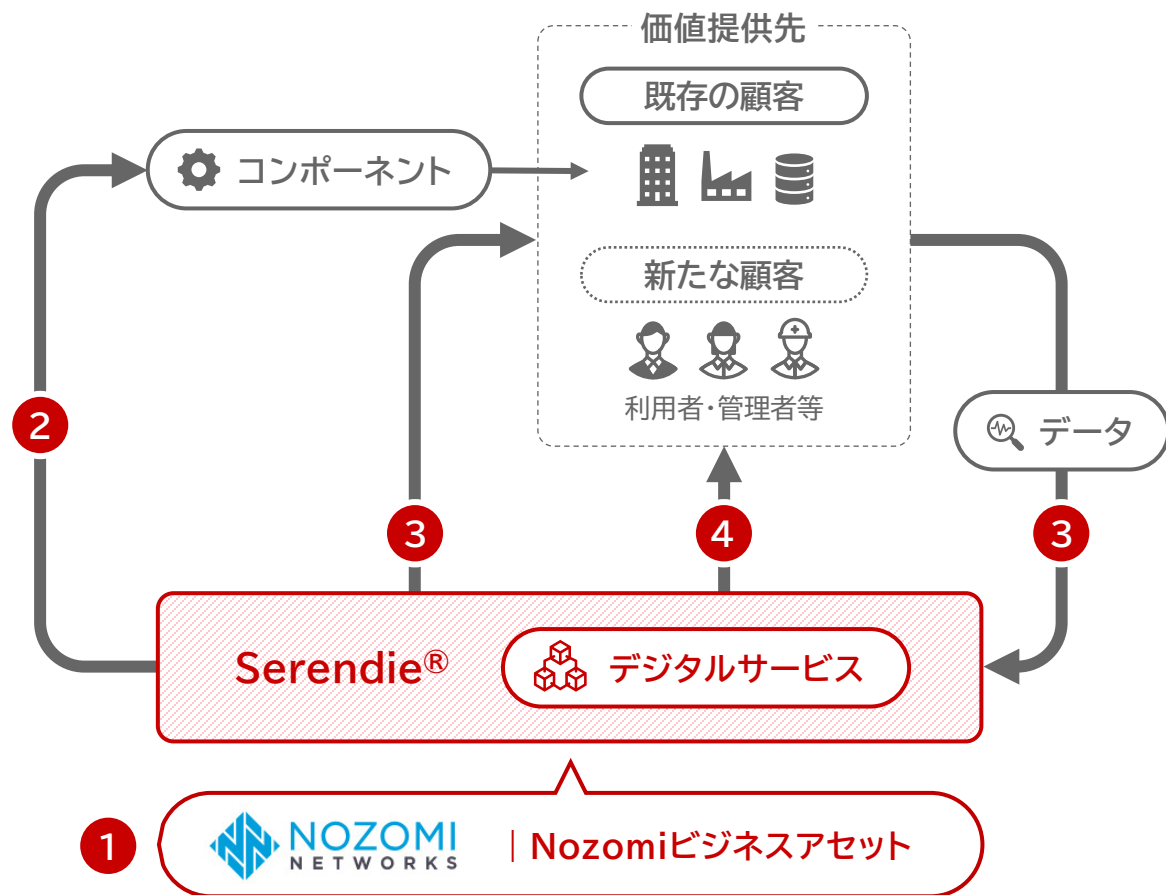
当社が持つOT領域における知見・ノウハウとNozomiが持つ最先端セキュリティ技術の融合により
付加価値の高いOTセキュリティソリューションを顧客に提供



*1 SOC : Security Operation Center (企業のネットワークやシステムを24時間365日監視し、対策を講じる専門組織)

Serendie関連事業の強化

Serendie関連事業においてNozomiのアセットをフル活用することで、事業のスケール化を加速



1 Nozomiのビジネスアセット獲得

NozomiのSaaS商材、クラウドサービス基盤、AI技術の取り込みによるSerendieの質的強化

2 コンポーネント強化

OTセキュリティ技術の当社コンポーネントへの実装
(シーケンサ搭載侵入検知センサー: 24年9月発売済)

3 収集データを活用した新たなサービス提供

Nozomiのソリューションを介して得られるデータを活用し
新たなサービスを顧客と共創

4 価値提供先拡大

製造業・ビル・インフラ等各領域におけるNozomiの豊富な
導入実績、顧客接点を活用したグローバルにおける事業拡大加速

Serendie適用事例 | インダストリー領域

生産現場で稼働する多種多様な機器の稼働データをセキュアに収集・分析し
AIエージェントを活用した生産ライン最適制御など、ものづくり現場におけるデジタルトランスフォーメーションを実現



シナジーを生む強み

三菱電機

- 製造業に対する豊富なインストールベース
- 製造現場に関する高度なドメインナレッジと幅広い製品群を核とした顧客課題解決

Nozomi

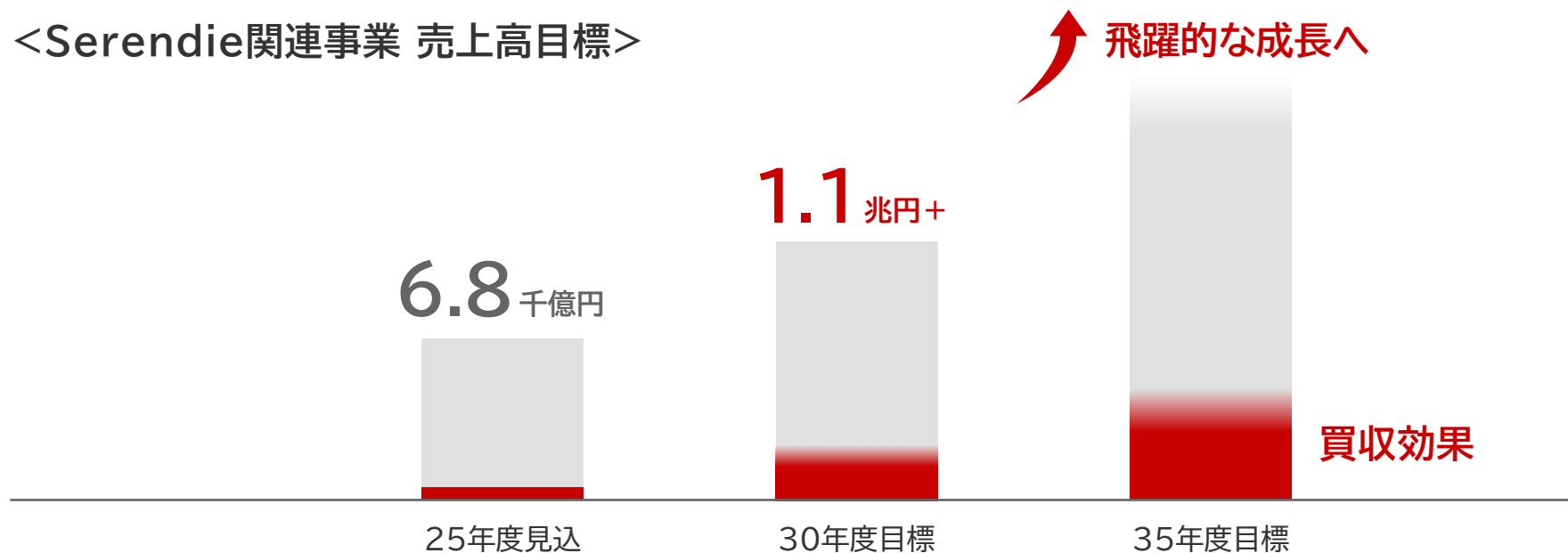
- 最先端のセキュリティ技術
- 他社製品も含めた現場全体からのセキュアなデータ収集を可能にする各種ソリューション

4 ロードマップ

ロードマップ

Serendie関連事業 30年度売上高1.1兆円の達成を確実なものとし、その後の飛躍的な成長につなげる

<Serendie関連事業 売上高目標>

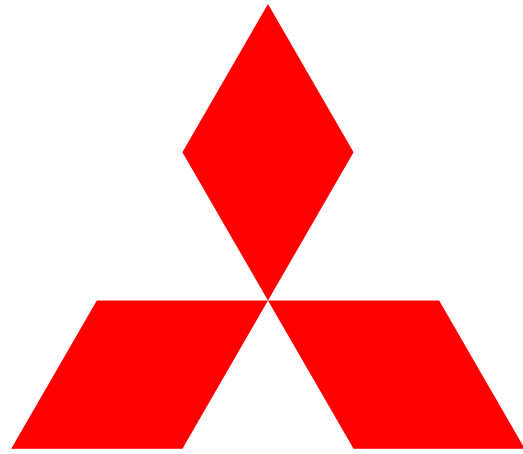


<ロードマップ>



本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 資金調達環境
- ⑤ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 訴訟その他の法的手続き
- ⑧ 製品やサービスの品質・欠陥や瑕疵等に関する問題
- ⑨ 地球環境(気候関連対応等)等に関連する法規・規制や問題
- ⑩ 人権に関連する法規・規制や問題
- ⑪ 急激な技術革新や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑫ 事業構造改革
- ⑬ 情報セキュリティ
- ⑭ 地震・津波・台風・火山噴火・火災等の大規模災害
- ⑮ 地政学的リスクの高まり、戦争・紛争・テロ等による社会・経済・政治的混乱
- ⑯ 感染症の流行等による社会・経済・政治的混乱
- ⑰ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項



**MITSUBISHI
ELECTRIC**

Changes for the Better